

2004年7月23日

各位

会社名 双日ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西村 英俊
(コード番号 2768 東証第1部/大証第1部)
問合せ先 広報部長 吉村 剛史
電話番号 03 - 5446 - 1061

「新事業計画」の基本方針について

双日ホールディングス株式会社は、財務体質の健全性確立及び収益力向上を一層加速すべく、以下のとおり「新事業計画」策定のための基本方針（骨子）を決定致しましたのでお知らせ致します。

1. 狙い

双日グループは、事業ポートフォリオ戦略による「収益力の向上」、ならびに株主資本の充実と有利子負債の削減による「財務体質の強化」を目的とした事業計画（2003年4月から2006年3月までの3ヵ年計画）を策定し、合理化の進捗及び財務計数とも初年度で目標を達成するなど、順調に進捗しております。

また本年4月1日には、合併会計による資産健全化も実行し、将来の追加損失発生リスクの低減も進めて参りました。しかしながら当社に対する市場の評価は十分なものとは言えず、結果としての経営基盤への影響を考慮せざるを得ない状況と認識するに至りました。

このような中、外部環境に左右されない強固な経営基盤を早期に構築することが重要との認識のもと、3ヵ年計画を発展的に修正することにより、市場の信用の早期回復を図るものです。

2. 「新事業計画」骨子～基本コンセプトは「再生の加速」

財務体質の健全性確立

・資産内容の見直し完了

「事業リスクの低減」「資産の質・流動性の向上」の観点から、減損会計の前倒し、保有不動産の処分、海外投融資を含む低採算事業から大胆に撤退することによる2500億円規模の償却・引当処理を断行し、将来の追加損失発生リスクを一掃

・株主資本の充実

上記処理に伴い大幅に減少する株主資本を補完し、財務を健全化するため、UFJ銀行を中心にUBSグループ等も加えた十分な資本増強を予定

収益力向上の加速

- ・ 選択と集中の加速（SCVAによる事業ポートフォリオ再構築）
新事業計画で選択・低採算事業の処理を断行
*SCVAとは、当社独自のリスク・リターン指標
- ・ 「強み」のある事業の拡大(成長戦略)
双日グループが固有に持つ「強み」を活かした競争優位の事業へ追加資金を投入し、収益拡大を図る【別紙1ご参照】
- ・ 低採算事業への投入資源を成長事業に再配分
SCVAに基づく事業ポートフォリオの継続的な見直しにより、低採算事業の経営資源（ヒト、カネ）を成長事業に再配分【別紙2ご参照】
- ・ リスク管理の強化・高度化
リスク計量手法を導入し、株主資本対比でのリスク量のコントロールとリスクリターン（SCVA）の向上に取り組む

計数等

- ・ 将来の姿として経常利益 1000 億円企業を目指し、3 年後の財務目標を具体化
～ ネット DER：4.5 倍以下（ネット有利子負債：1 兆円程度）
～ 財務格付：投資適格
- ・ 収益計画の詳細については、9 月上旬に公表予定

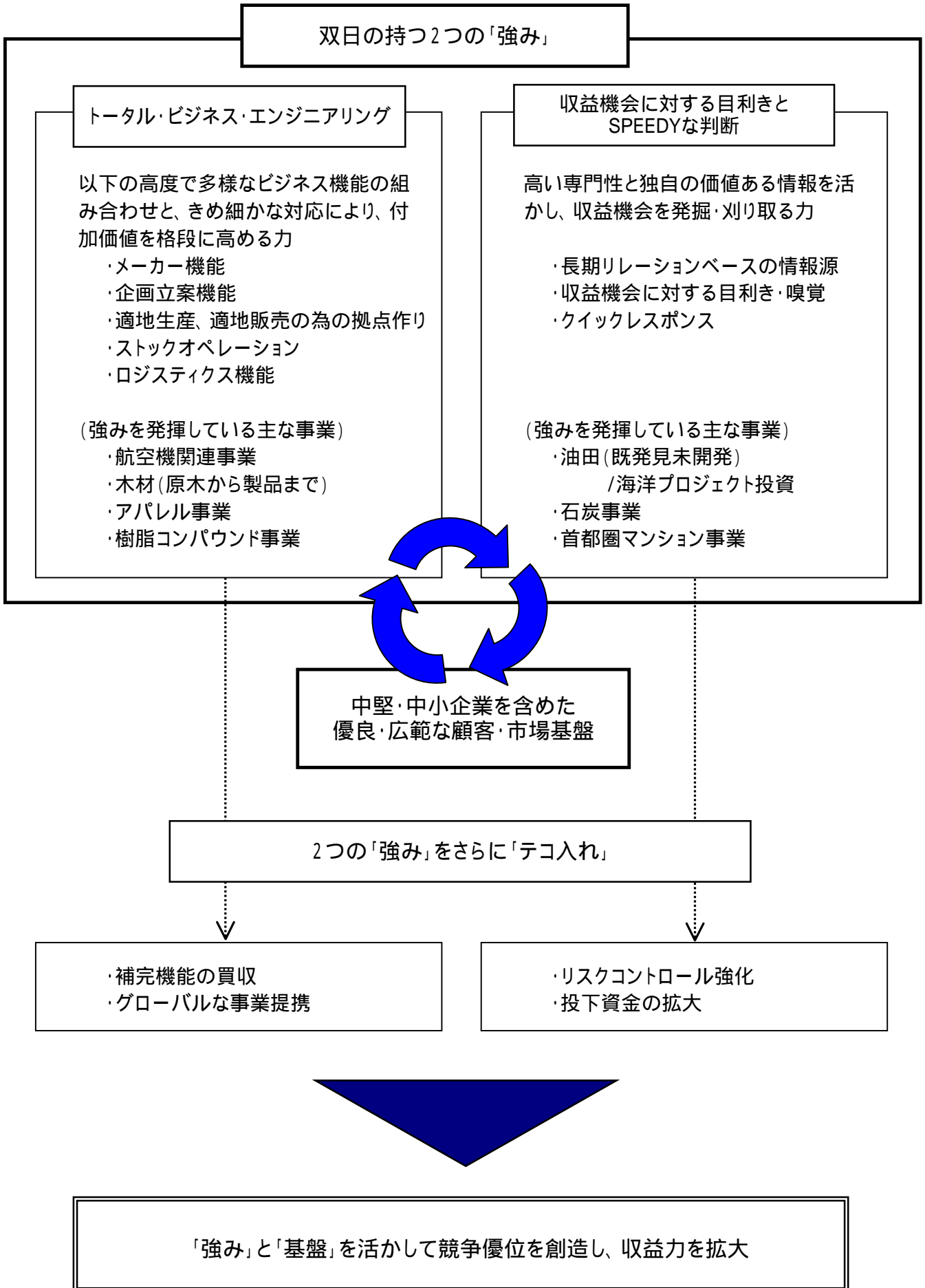
3．スケジュール（予定）

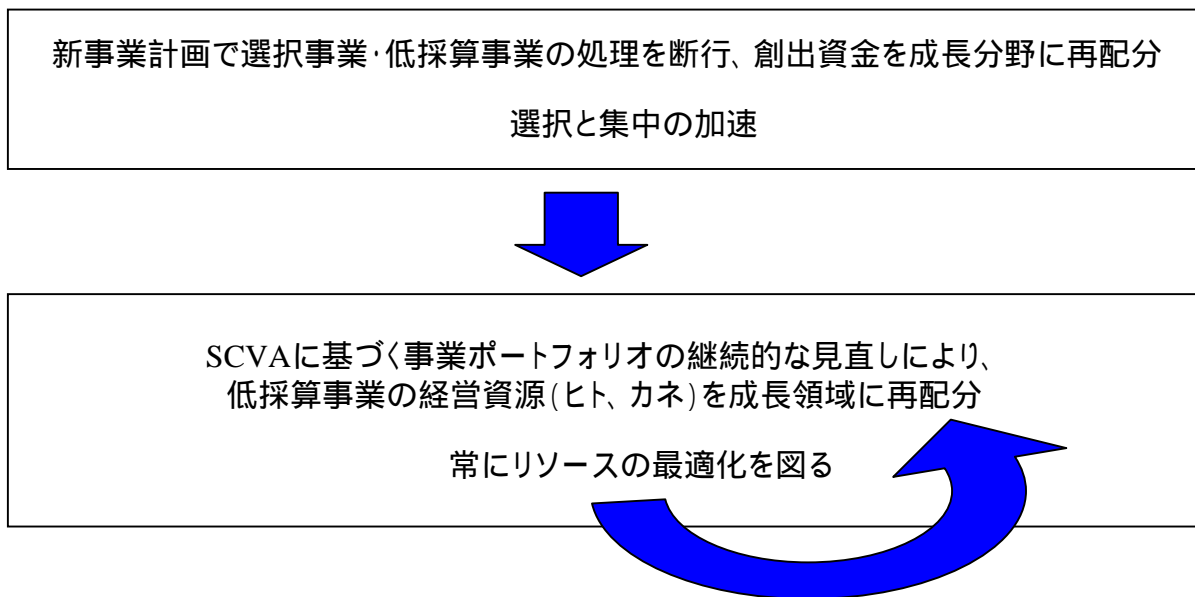
2004 年 7 月 23 日（本日）	基本方針公表
9 月上旬	詳細内容公表（事業計画、増資額等）
9 月下旬	臨時株主総会開催（増資に向けた定款変更を予定）
10 月中旬	増資払込

4．業績修正について

「新事業計画」実施に伴い、5 月 13 日公表の当期利益見通しは修正を見込んでおりますが、詳細内容公表と合わせて発表の予定です。

以 上





「事業ポートフォリオ再構築」のイメージ

